

氏 名	江藤 剛
学 位 の 種 類	博士（医学）
学 位 記 番 号	甲第 6 4 1 号
学位授与年月日	令和 6 年 3 月 2 2 日
審 査 委 員	主査 教授 佐野 千晶
	副査 教授 深見 達弥
	副査 准教授 角舎 学行

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

がんは精神障害者の主要な死因の一つであり、精神障害者のがん医療における予防、診断、治療、症状管理、終末期ケアのすべての場面で生じている格差の是正は重要である。精神障害者のがん医療における課題は概念としては提唱されていたが、医療従事者が実際に直面している個々の具体的な課題を網羅的に調査した研究はこれまでにない。本研究は、がん医療従事者と精神科医療従事者を対象として、がん診療上の具体的な課題とその解決策について質的に調査した。研究参加者 439 名から回答を得て、61 項目のがん診療上の具体的な課題と 48 項目の解決策が抽出された。この 61 項目の課題は、更に、10 のカテゴリに分類され、以前に提唱された概念と一致して、患者レベル、医療者レベル、システムレベルの課題が抽出された。また、48 項目の解決策は各レベルに対する 12 のカテゴリに分類された。本研究は、精神障害者のがん医療における具体的な課題を初めて網羅的に抽出したものである。今後、格差是正のための介入法を開発するための基盤となる研究であり、学術的に価値が高いと考えられる。